

■奈良先端科学技術大学院大学支援財団の活動紹介

(1) 大学院大学支援事業

令和6年度大学院大学支援事業

支援総額 8,800 千円

① 教育研究活動に対する支援

- ・ 研究テーマ助成 3 件 1,500 千円

氏名	所属・職名	研究テーマ
真弓 大輝	先端科学技術研究科 ユビキタスコンピューティ ングシステム研究室 博士後期課程 2 年	糖分摂取量低減を補助する嗅覚インタ ーフェースの開発
KHOK YONG SEN	先端科学技術研究科 環境微生物学研究室 博士後期課程 2 年	Production of p(GL-co-3HB) by Ideonella sakaiensis utilizing PET as main carbon source
酒井 隆裕	先端科学技術研究科 機能超分子化学研究室 博士後期課程 3 年	ドメインスワッピング制御による抗体 酵素の高機能化

- ・ 社会人ドクター修学支援事業 3 名 600 千円

② 国際交流活動に対する支援

- ・ 海外派遣支援 21 件 2,027 千円
- ・ 外国人留学生支援 6 名 2,652 千円
- ・ 大学間交流活動支援 8 件 681 千円

③ アワード事業

- ・ NAIST 最優秀学生賞 14 名 840 千円
- ・ 教員表彰 3 名 500 千円

■令和5年度アワード事業

学習や研究に対する意欲を高めるため、令和6年3月22日に開催された学位記授与式において、優秀な成績を修めた学生14名を理事長名で表彰し賞金を授与しました。

また、教育研究活動において優れた業績を挙げた教員の表彰に際し、賞金を贈呈しました。

・ NAIST 最優秀学生賞

14 名 840 千円

情報科学領域

(博士前期課程) LIU HUAKUN、VASSELLI JUSTIN RAY、大武 一平

(博士後期課程) THONGLEK KUNDJANASITH、福田 りょう、笹田 大翔

バイオサイエンス領域

(博士前期課程) 宮嶋 渚、上原 由梨奈

(博士後期課程) 小林 利紗、NORSHIMA BINTIABU HASAN

物質創成科学領域

(博士前期課程) 西川 晃弘、衣川 翼

(博士後期課程) 甚上 知美、勝見 志穂

・ **教員表彰**

2名 300千円

情報科学領域「ベストティーチング賞」

教授 和田 隆広

バイオサイエンス領域「バイオ領域賞」

対象者なし

物質創成科学領域「NAIST 学術奨励賞」

助教 PANDEY Manish

(2) 産学官交流事業

奈良先端科学技術大学院大学支援財団では、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（以下、「奈良先端大」と記します。）で生まれた革新的な科学技術等を産業界で積極的に活用していただくために、奈良先端大の研究成果や技術シーズの実用化に向けた取り組みを支援する「奈良先端大発 新産業創出支援事業」を平成16年度に立ち上げ、令和6年度も引き続き実施しました。

また、奈良先端大で生まれた先端的な研究成果、技術シーズ等を産業界に向けて発信する場、および奈良先端大と産業界との交流を図る場として「奈良先端大産学連携フォーラム」を開催しました。

奈良先端大発 新産業創出支援事業

地元の中小企業・ベンチャー企業等が、奈良先端大と連携して、奈良先端大で生まれた研究成果や技術シーズの実用化に向けた研究開発に取り組む場合に、研究開発に要する費用の一部を支援しています。

令和6年度は次の2件のテーマを支援しました。

『奈良漬の製造工程に適応した微生物とその品質への役割の解明』

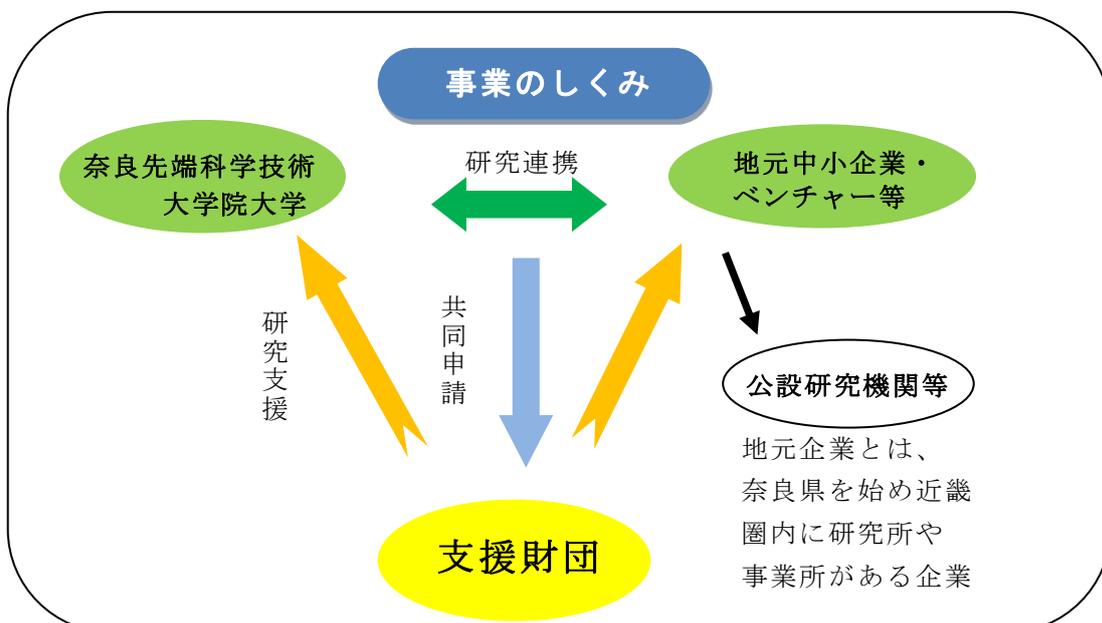
奈良屋本店

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域 准教授 渡辺 大輔

『オルニチン高生産酵母を活用した健康系クラフトビールの開発』

テンフィールドズファクトリー株式会社

奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構 特任教授 高木 博史



(成果報告会)

令和5年度に「奈良先端大発 新産業創出支援事業」で支援した研究開発の成果報告会を令和6年3月28日に開催しました。

【新産業創出支援研究成果報告（令和5年度）】

○「ソフトウェアのコードレビュー支援を対象とした機械学習モデルの応用手法」

株式会社 EASE 創研

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域 教授 飯田 元

○「機能性アミノ酸高生産酵母の育種技術を活用したクラフトビールのブランド化」

テンフィールズファクトリー株式会社

奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構 特任教授 高木 博史

奈良先端大産学連携フォーラム

奈良先端大で生まれた先端的な研究や独創的な研究の成果を紹介するとともに、奈良先端大の研究者と産業界の研究者・技術者の交流の場を提供することを目的として、奈良先端大、(公社)関西経済連合会、当財団の共催でフォーラムを開催しています。令和6年度は、7月30日(火)、奈良先端大で開催し、38名の参加がありました。

<研究紹介講演>

「強化学習・模倣学習による人作業のロボット自動化」

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域
教授 松原 崇充

「XR技術が実現するウェルビーイング」

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域
教授 清川 清

「発酵・醸造食品のイノベーション ～地域貢献から海外展開まで～」

奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構
特任教授 高木 博史

<研究室見学>

ロボットラーニング研究室

サイバネティクス・リアリティ工学研究室

発酵科学研究室

<情報・意見交換会>

(3) 地域交流事業

財団では、先端科学技術に対する地域住民の関心を高めるとともに、高山地区の立地施設と地域住民との相互理解を深めるために様々な地域交流事業を行っています。

高山サイエンスタウンフェスティバル

関西文化学術研究都市高山地区立地施設等連絡協議会（奈良先端大、参天製薬(株)奈良研究開発センター、上六印刷(株)、(株)Burley plus、(株)芦田製作所、(株)日阪製作所、当財団）の主催で、地域交流の一環として開催しています。

令和6年度は、11月16日（土）に、開催しました。

高山サイエンスプラザでは、コンサート・科学体験・紙漉き体験などを開催し、奈良先端大のオープンキャンパスとともに、来場者に楽しんでいただけた一日となりました。

（高山サイエンスプラザ）

- ・ 音楽会「吹奏楽コンサート」
- ・ 親子科学教室
「自分で作る、空気抵抗だけで飛ばす『飛ぶ折り紙ヒコーキ』作りに挑戦しよう！」
- ・ 紙漉き体験

NAISTサイエンス塾

平成18年11月から、概ね毎月第2土曜日に、子供の理科離れの防止を目的に、講師を奈良先端大にお願いして科学実験教室を開催しています。

【令和6年度開催状況】

開催回数／6回

参加者／小学生187名

内 容／

- 5月 「パンを作る生き物 『イースト』のひみつに迫ろう」
- 6月 「対戦ゲームでAIプログラミングに挑戦しよう！」
- 7月 「サイエンス探検隊～電気と磁気の旅～」
- 9月 「ブロックをつかって歩行ロボットをつくってみよう！」
- 10月 「身の回りのフシギを体感しよう！！」
- 1月 「光と海の波の共通点 温めたチーズから見えるもの！」



夏休み科学実験教室

毎年夏休み期間中、科学のおもしろさ、楽しさを伝え、科学をより身近に感じてもらえるよう、科学実験教室を開催しています。

開催日／令和6年8月3日(土)

参加者／小学生23名

内容／「風で遊ぼう！風で動くおもちゃや車をつくって科学しよう」

けいはんなプラザ・プチコンサート in 高山

関西文化学術研究都市高山地区立地施設等連絡協議会が協賛する「けいはんなプラザ・プチコンサートin高山」が、オープンギャラリーにて開催されました。

【令和6年度開催状況】

開催回数／4回

参加者／171名

内容／

5月 「正岡将地ピアノコンサート」

6月 「音楽の花束コンサート」

9月 「秋のサクソフォンコンサート」

10月 「打楽器DUOコンサート」

サイエンスランドの運営



奈良先端大との連携により、「科学に芽生える」をコンセプトとした幼児の遊び空間「サイエンスランド」に、ドラえもんをはじめ種々のソーラーカー、電磁石ゴマといったコンテンツを揃えました。



高山サイエンプラザの団体受入れ

「サイエンスランド」や屋外のオブジェを活用し、幼稚園児等の団体体験を受入れています。

高山サイエンスプラザ



高山サイエンスプラザは、当財団が行う産学交流や地域交流などの活動拠点であり、研究者や市民の交流の場となっています。

建物内部のガラス張りのオープンギャラリーは、水と緑と光があふれる吹き抜けの大空間で、コンサートなどの催しに利用されています。

磁石の反発力を利用した「磁気浮上階段」や、屋外の「科学する子供たちの広場」には、建物のガラス壁面に大きく映し出されたアインシュタインの顔や、ニュートン、野口英世などの偉大な科学者の像、「アルキメデスのねじ」のオブジェなどがあり、子供たちの科学する心をはぐくむ楽しい空間となっています。

平日の9時から17時まで開館しています。

